

令和4年度 北海道網走南ヶ丘高等学校 全日制課程 学校評価票

1 学校教育目標

- 1 国家及び社会の有為な形成者として義務と責任を重んじ、己を磨く態度をはぐくむとともに、自主自立の精神を養う。
- 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむとともに、奉仕と勤労を尊び行動・実践する力を養う。
- 3 探究心と向上心を培い、課題解決に必要な学力をはぐくむとともに、明澄で端正な生き方を希求する態度を養う。

2 スクール・ミッション

地域から期待されているオホーツク東部の中心校として、広域から入学する多様な生徒の豊かな心と健やかな体をはぐくみ、社会に貢献できる指導的役割を担う人間を育成します。

3 スクール・ポリシー

〈グラデュエーション・ポリシー：卒業の認定に関する方針〉

- ・「基本的生活習慣」の確立 = 明澄端正・奉仕勤労
- ・「自ら学ぶ態度」の確立 = 自主自立・明澄端正
- ・「家庭学習習慣」の確立 = 奉仕勤労・自主自立

〈カリキュラム・ポリシー：教育課程編成・実施に関する方針〉

生徒一人ひとりの進路希望の実現や学力を伸ばすため、卒業後の進路や適性を踏まえた教科・科目選択を行い、自分に合った時間割を生徒自ら作成できるよう教育課程を編成し、確かな学力の向上を目指した授業を実施する。

〈アドミッション・ポリシー：入学者の受け入れに関する方針〉

- ・大学進学等、将来の目標をしっかりと持ち、自ら学ぼうとする意欲の高い生徒
- ・生徒会活動や学校行事、部活動等において、リーダー性を発揮し、主体的に取り組む生徒

【評価】 そう思う 4 どちらかというと思う 3 どちらかと言えばそう思わない 2 思わない 1

領域	No.	評価の観点	生徒	保護者	教職員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
学校運営	1	学校教育目標は家庭や地域の願いに応えたものになっていると思う。	3.4	3.3	3.6	【成果】 ・学校教育目標が地域に根ざしたものと概ね理解されている。 ・本校に入学して良かったと感じる生徒・保護者も多く、引き続きそのような学校運営を心がけたい。 【課題】 ・積極的な情報提供・教育活動の公開や学校評価の充実	・ホームページ適時更新し教育活動の積極的な発信 ・年間を通して、学校で開催されるPTA総会や進路ガイダンス等を活用し、保護者との積極的な情報共有し、協働体制を構築する。	4.0
		前年対比	0.2	0.1	0.3			0.6
	2	授業の配置などの教育課程は生徒の進路実現に応えたものになっていると思う。	3.3	3.2	3.3			3.8
		前年対比	0.1	-	0.1			0.6
	3	本校は、いじめのない学校だと思う。	3.3	3.1	3.2			3.5
		前年対比	0.1	-0.1	0.2			0.1
	4	学校は、教育活動などを積極的に情報発信していると思う。	3.3	3.1	3.5			3.8
		前年対比	0.2	0.1	0.2			0.6
	5	ホームルーム担任や部活動顧問、関係教職員は、保護者と連携が取りやすい環境にあると思う。	3.2	3.2	3.3			3.5
		前年対比	0.1	0.3	0.2			0.3
6	教職員の言葉づかいや態度、電話の応対などは、適切に行われていると感じる。	3.4	3.4	3.2	4.0			
	前年対比	0.1	0.1	0.2	1.0			
7	あなたは、学校から配付されるプリントなどを、保護者に必ず見せている。(指導している。)	3.3	3.1	3.1	3.5			
	前年対比	0.1	-	-0.1	0.5			
8	本校に入学して良かったと思う(指導をしている)。	3.5	3.7	3.4	4.0			
	前年対比	0.2	0.2	-0.1	0.6			
学校関係者からの意見		・地元の小中学生に対するPR(情報発信)が大切。南高に入学したいと思われるような発信を積極的に行っていただきたい。 ・生徒・保護者・教職員の評価のバランスが良くすばらしい。多くの項目で前年対比もアップしている。更なるアップを期待する。 ・学校と保護者のひとつのパイプ役である生徒からプリント等の資料が全家庭に渡ることで、より一層の学校と家庭の連携が進んでいくことを願う。生徒自身につき役でもあるという自覚を更に掘り起こしていただきたい。						

領域	No.	評価の観点	生徒	保護者	教職員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
学習指導	9	全ての授業において、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られていると思う。	3.2	3.1	2.9	【課題】 ・基礎・基本の理解と読解力の向上 ・自ら学ぶ態度の育成と家庭学習の時間の確保・増加	・公開授業授業週間を活用やICT等を取り入れた授業実践と改善を図る。 ・教務部、年次が連携し、生徒自ら学習への習慣化を図る。	3.8
		前年対比	0.1	0.1	0.1			0.6
	10	予習・復習や学習課題など、家庭学習に取り組んでいる。	2.7	3.1	2.5			3.3
		前年対比	-	0.1	-0.2			-0.1
	11	今年度になって、学力は向上したと感じる。	2.9	2.9	2.8			3.3
		前年対比	-	0.3	0.1			0.5
12	全ての授業において、教員は適切な態度で授業を行っていると思う。	3.1	2.9	2.9	3.8			
	前年対比	0.1	-	0.1	0.6			
13	本校の学習指導は、適切に行われていると感じる。	3.2	3.1	3.0	4.0			
	前年対比	0.1	0.1	-	0.4			
学校関係者からの意見		・PC、タブレットのICTを取り入れた授業等が増えてくると思います。より効果的に活用できることを望みます。 ・生徒・保護者・教職員の評価がほぼ等しいことはコミュニケーションが取れている結果と考えられる。来年の更なるアップを期待する。 ・学習指導によく努力されていると感じる。学力向上への諸方策を学校関係者や諸機関などと検討することも必要。さらに読書力向上や古くからの人々の学びの精神を学び直す等の工夫も必要では。						

領域	No.	評価の観点	生徒	保護者	教職員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
生徒指導	14	教職員は、積極的に声をかけたり、悩みを聴いたりするなど、生徒理解に努めている。	3.2	3.1	3.2	【成果】 ・学校の生徒指導に対し、生徒、保護者とも概ね理解をいただいている。 ・スクールカウンセラー等の活用で人間関係の適切な構築が図られつつある。 【課題】 ・さらなる教育相談の充実	・教育相談委員会を中心に生徒理解ツール「ほっと」等のエビデンスに基づいた組織的な取組の充実を図る。	3.8
		前年対比	0.1	-	0.1			0.6
	15	学校は、挨拶、服装、頭髪など、社会のルールやマナーなどについて適切に指導していると思う。	3.2	3.2	3.0			3.5
		前年対比	-	-	0.2			-0.1
	16	あなたは、学校の生徒指導について理解している。	3.4	3.4	3.1			3.8
		前年対比	0.2	0.4	-0.1			0.6
	17	学校は、教育相談や面談週間の実施などによって、生徒の悩みや不安の解消に努めていると思う。	3.3	3.2	3.4			3.8
		前年対比	0.2	0.1	0.2			0.6
	18	本校の生徒指導は、適切に行われていると感じる。	3.3	3.3	3.3			3.8
		前年対比	0.1	0.1	0.2			0.6
学校関係者からの意見	<p>・No.16については、生徒・保護者の評価が高いにもかかわらず、教職員の評価が前年比から見ても低いのは残念である。</p> <p>・全般的に改善が進んでいる事を嬉しく感じる。多忙な中ですが、より一層組織的に役割を分担し、生徒一人ひとりを見守ることのできる体制づくりが望まれる。</p> <p>・教育相談委員会を補佐していく教職員全体の係わりと分担の一層の推進を期待する。</p>							

領域	No.	評価の観点	生徒	保護者	教職員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
進路指導	19	学校は、進路実現に向けて、生徒が主体的に取り組む態度を育成していると思う。	3.3	3.3	3.1	【成果】 ・生徒や保護者から本校の進路指導に対し概ね理解をいただいている。 【課題】 ・多様な進路希望の実現を図る取組の充実	・進路指導部と年次のさらなる連携によるインターンシップや進路ガイダンス等の工夫や改善にきより、キャリア教育の充実を図る。	3.8
		前年対比	-	0.2	-			0.6
	20	学校は、模試などへの参加を促し、その結果を分析して進路指導に生かしていると思う。	3.4	3.3	3.1			3.8
		前年対比	0.1	0.1	-0.2			0.8
	21	学校は、生徒の進路希望に応じたきめ細やかな指導をしていると思う。	3.3	3.2	3.1			3.8
		前年対比	-	0.2	-0.2			1.0
	22	学校は、進路について必要な情報を提供していると思う。	3.4	3.1	3.4			4.0
		前年対比	0.1	0.1	-			0.4
	23	本校の進路指導は、適切に行われていると感じる。	3.5	3.2	3.3			4.0
		前年対比	0.2	0.1	-0.1			0.8
学校関係者からの意見	<p>・以前より推薦での進学が多いように感じる。早期に目標を立てて希望進路実現に向かって学習していく流れが定着してきているのは評価できる。</p> <p>・生徒の評価が軒並み高いのは、学校の指導が理解され、満足していることであり、とても良いことである。</p> <p>・進路希望に合わせると同時に、生徒一人ひとりへの適切なアドバイスをお願いする。</p> <p>・生徒と保護者の対話を深めていただきたい（例えば経済事情による進路変更があれば、方策を考え、もともとの希望進路に向かわせることができないか？など）</p> <p>・浪人生が少なくなってきたと聞いている。志望校をあきらめずチャレンジもして欲しい。</p>							

領域	No.	評価の観点	生徒	保護者	教職員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
健康・安全指導	24	学校は、教科や学校行事、部活動などで、心身の健康と安全について適切に指導していると思う。	3.5	3.4	3.4	【成果】 ・怪我や体調不良時の対応や健康と安全管理指導に関して生徒・保護者から理解をいただいている。 【課題】 ・基本的な生活習慣の確立	・ホームルーム担任と生徒指導部、養護教諭が連携し、「長期休業中前の心得」や、「ほげんだより」、生徒会の各種委員会によるポスター作成・掲示等による啓蒙活動を組合せ、基本的な生活習慣の確立を図る。	4.0
		前年対比	0.1	0.2	-			0.4
	25	学校は、生徒が体調不良や怪我などをした場合、適切に対応していると思う。	3.6	3.5	3.5			4.0
		前年対比	0.1	0.2	-0.1			0.6
	26	あなたは、睡眠、食事、時間を守るなど、規則正しい生活習慣が身についている。	3.2	2.9	2.9			3.3
		前年対比	0.1	-0.2	0.1			0.1
	27	学校は、スマートフォンやインターネット、SNS等の使い方について適切に指導していると思う。	3.3	3.2	3.0			3.8
		前年対比	0.1	0.1	-			0.4
	28	本校の健康・安全指導は、適切に行われていると感じる。	3.5	3.2	3.5			4.0
		前年対比	0.1	-0.1	0.2			0.8
学校関係者からの意見	<p>・No.26の評価が低いのは残念だが、生徒の評価はそれほど低いわけではないので、改善してきているのではないかな。</p> <p>・学校としてよく努力されていると感じます。</p> <p>・自立へ向けての悩みや、他にも様々な悩みを抱えている生徒もいます。悩み相談の一層の充実を図り、総合的に生活習慣の大切さを伝えてください。</p>							